



落合・吉岡土地区画整理区 域内へ進出表明した企業は

二見 昇

●落合・吉岡地区のまちづくりについて

Q 落合・吉岡地区の工業系土地利用エリアに、進出の意向を表明している企業名と想定している建物の総面積は。

A 意向表明している企業は、S Gリアルティ株式会社であり、想定されている建物の延べ床面積は、約22万平方メートルとなっている。

Q 落合小学校東側と、春日台中学校南西側の埋蔵文化財包蔵地発掘の本調査実施と費用負担者は確定しているか。

A 落合小学校東側は、事前の発掘調査により遺構などが確認されたため、区画整理の実施に伴い本調査の必要があった。春日台中学校南

西側は現在、本調査が必要か確定できていない。試掘調査は公費で行うが、本調査が必要となった場合の費用は区画整理事業者が負担する。

Q 区画整理区域内の専業農家に対して行っている、代替補償の現状は。

A 代替地を希望する権利者に深谷中地区の農地を提案したが、合意には至っていない。引き続き希望に沿った農地を提案していく。

Q 住宅が移転の対象となる方に対し、どの程度損失が補償されるか。

A 区画整理区域内の住宅移転に対する補償費には、建物や工作物、樹木の移植も含まれる。



受益者負担の適正化に向け た取り組みへの評価は

志政あやせ 橋川 佳彦

●受益者負担適正化の進捗状況について

Q 市受益者負担適正化に関する指針策定後の取り組みをどう評価しているか。

A 使用料の設定や減額免除規定が統一され、利用者に明確に示すことができた。施設の維持管理経費に対する利用者負担額の割合が4・6%から14・9%になり、受益と負担の適正化に成果があった。

Q 指針策定から5年経過したが、今回、使用料の見直しを行わない理由は。

●公共政策における改善プロセスの考え方について

Q PDCA(計画・実行・評価・改善)の課題をどのように認識しているか。

A 計画段階での、組織内の議論不足が課題であると把握している。事業執行の際、目的や到達すべき状態の認識がなく、手段が目的化している状況も見受けられる。

Q 政策課題を、スピード感を持って対応することに対し、課題意識はあるか。

A 計画を優先し過ぎるため、スピード感の欠如が課題と考える。計画の速やかな変更も含め、柔軟に対応したい。



施策展開の基本であるPD CAの課題に対する認識は

あやせ未来会議 佐竹 百里

Q 悩みを抱える子どもたちをどう支援するか。

A 子どもの相談に対し、面接や電話のほか、メールでも対応しており、必要に応じて自宅を訪問し、アドバイスや状況の確認を行っている。

Q 複雑な悩みを抱える子どもに対し、何をすべきか。

A 多くの大人が子どもたちに声掛けや見守りを行い、子どもたち一人一人を大切にすることが大切だと考えている。



なる。政省令の改正も予定されているが、市の考えは。

A 有価物、資源物などの保管は、広域的な規制が効果的と考えており、県に引き続き要望していく。今後、国から示される、改正法に係る対象物品や保管基準などの内容、県の対応状況を踏まえ、独自の規制が必要か判断したい。

公職選挙法による 禁止行為

◇時候のあいさつ状などの禁止

議員は市民に対し、答礼のための自筆によるものを除き、暑中見舞状、年賀状などの時候のあいさつ状(電報なども含まれます)を出すことは禁止されています。



これらに違反すると罰せられます。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

委員会の行政視察

委員会では、優れた施策を市政に反映させるため、先進地などを視察して、特定事項について情報を収集し、専門的知識を深めています。視察内容の詳細は、議会事務局で閲覧できます。

●経済建設常任委員会

- 視察日程・10月4日～6日
- 【山形県米沢市】
- ▽東北中央自動車道開通に伴う企業誘致について
- 【福島県福島市】
- ▽産業振興事業について
- 【宮城県角田市】
- ▽地域振興施設整備事業について



宮城県角田市役所にて

●総務教育常任委員会

- 視察日程・10月11日～13日
- 【福岡県宗像市】
- ▽小中一貫教育について
- 【福岡県春日市】
- ▽コミュニティ・スクールについて
- 【福岡県古賀市】
- ▽災害時の危機管理について



福岡県古賀市役所にて

●市民福祉常任委員会

- 視察日程・10月23日～25日
- 【福岡県大牟田市】
- ▽大牟田市認知症ケアコミュニケーション推進事業について
- 【熊本県熊本市】
- ▽福祉施設における災害発生時の対応について
- 【福岡県筑後市】
- ▽市民との協働・地球環境保全と水を守る運動・クリーン作戦について
- ▽ワークショップを活用したゴミ分別減量教育について



熊本県熊本市役所にて



神崎遺跡の環濠公開に向け当時の住居復元作業が行われました(南国指定史跡神崎遺跡にて)▽